

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和6年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行
推進協議会
- 2 会議日時 令和6年9月30日(月)
午前・午後 2時30分 から
- 3 開催場所 上尾市青少年センター 会議室2・3
- 4 会議の議題
 - (1) 令和6年度事業の進捗状況について
 - (2) 令和6年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況について
 - (3) 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づく休日
の地域クラブ活動の最適な実施について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由 無し
- 7 傍聴者数 0人
- 8 問い合わせ先 上尾市教育委員会学校教育部指導課
(担当課) 048-775-9672

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会	
開催日時	令和6年9月30日(月) 午後2時30分から午後4時30分まで	
開催場所	上尾市青少年センター 会議室2・3	
議長(委員長・会長)氏名	只限 伸也	
出席者(委員)氏名	萩原 康彦 宮内 光雄 鹿井 ゆかり 金子 輝大 洞派 英樹 根本 和彦 永井 基生 高山 亮平	
欠席者(委員)氏名	佐藤 和成	
事務局(庶務担当)	武田 直美 椎名 邦充 平賀 健治 森 正典 玉造 勇輝 遠藤 誉幸 大平 篤	
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果
	1 報告 (1) 令和6年度事業の進捗状況について (2) 令和6年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況について 2 協議 「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づく休日の地域クラブ活動の最適な実施について	別紙のとおり
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者数 0 名
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会資料 ・別冊資料① AGEO地域クラブ開始に向けた推進イメージ ・別冊資料② 夢を育み 未来を創る 上尾の「部活動改革」保護者用リーフレット(第3号、第4号) ・別冊資料③ 実施要項 ・別冊資料④ 令和6年度新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業 ・別冊資料⑤ 「Sgrum (スグラム)」サービス紹介資料 ・別冊資料⑥ 上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」参加者募集要項 	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和6年10月30日</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> <p>議長(委員長・会長)の署名</p> <p>議長に代わる者の署名 (議長が欠けたときのみ)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p style="font-size: 2em; font-family: cursive;">只限伸也</p> <hr style="width: 100%;"/> <hr style="width: 100%;"/> </div> </div>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
只限委員長	この令和6年度 第2回 上尾市立中学校部活動地域移行推進協議会は、審議会等の会議の公開に関する指針の3会議の公開により、公開するものとなりますが、委員の皆様には御賛同いただけますでしょうか。
全委員	異議なし。
只限委員長	では公開の協議会とさせていただきます。事務局、本日、傍聴の申し出はございますか。
事務局	本日の傍聴の申し出はありません。
只限委員長	それでは、次第どおり、進めさせていただきます。 まず、報告（1）令和6年度事業の進捗状況について、事務局より報告願います。
事務局	<p>それでは 報告（1）令和6年度事業の進捗状況について、説明いたします。</p> <p>第1回の協議会でお示しいたしました「AGEO地域クラブ開始に向けた推進イメージ」を再度配布させていただきました。内容等、大きな変更はございません。本推進イメージに基づき、令和6年度事業を順調に進めているところです。</p> <p>最初に、令和6年9月30日現在の事業実績について御説明します。</p> <p>なお、主な事業実績として4点抽出して説明いたしますが、地域クラブ活動実証事業の進捗状況については、この後の報告（2）で説明させていただきます。</p> <p>1点目は、アッピー部活動コーチ及びアッピー部活動サポーターの配置についてでございます。</p> <p>アッピー部活動コーチにつきましては、現時点で21名を配置しており、これまでに3回の研修会を実施しております。研修会では、「上尾市立中学校に係る部活動の方針」に基づく適切な部活動指導の実施についての研修や、アッピー部活動コーチ同士による意見交換等を通して、アッピ</p>

一部活動コーチによる単独指導、単独引率の適切な実施に向けた取組を推進しております。

またアッピー部活動サポーターにつきましては、現時点で57名を配置しております。

2点目は、「夢を育み 未来を創る 上尾の『部活動改革』保護者用リーフレット」の配布についてです。今年度は、2か月に1回、これまでに3回の発行を行っております。第3号の特集内容は「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」について、第4号は「上尾市英語クラブ『イングリッシュサロン』」についてとなっております。

3点目は、上尾市部活動地域移行推進事業に関するホームページの作成についてです。保護者、地域の皆様にとって有益な情報源となるよう、工夫を図っております。現在は、上尾市における本事業の推進イメージや、実施中の実証事業の取組についての御紹介、上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針や、保護者用リーフレット等を掲載しているところでございます。将来的には、AGEO地域クラブの実施主体となる団体や指導者の公募を、ホームページを通してでもできるよう、検討を行っているところでございます。

4点目は、「第2回 上尾市地域クラブ活動ミーティング」についてでございます。令和6年7月17日（水）に、上尾公民館にて、開催いたしました。参加者は27名でございました。今回の地域クラブ活動ミーティングでは、本年5月に策定した「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」の内容について説明させていただいた上で、上尾市における最適な地域クラブ活動の在り方について、参会者同士による意見交換を行っております。

意見交換では、

- ・参加費、運営費等の問題を解決しなければならないこと
- ・既存のクラブにもともと所属している生徒と、新しく地域クラブに参加する生徒のレベル差に応じた指導が難しいこと
- ・新たな地域コミュニティの創出にもつながる、既存の学校部活動種目にこだわらない地域クラブを設置すること

等、様々な御意見を賜りました。

今回の地域クラブ活動ミーティングでは、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」について、参会者の皆様に説明させていただき、上尾市の目指す方向性を示すことができたことで、より具体的な意見交換

	<p>の実施につながったと考えております。</p> <p>最後に、今後の予定についてでございます。</p> <p>主な予定として2点まとめてございます。</p> <p>1点目は、「AGEO地域クラブ」シンポジウムについてでございます。</p> <p>前回の協議会で御意見を踏まえ、地域クラブ活動ミーティングの名称を変更したものといたします。次回以降のシンポジウムでは、令和6年度新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業や上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」について、参加者が参観する内容を取り入れるなど、これまで以上に充実した内容となるよう、工夫したいと考えております。</p> <p>2点目として、子供たちの思いや実態に即した地域クラブ活動の推進を図るための調査の実施についてです。現時点で、児童生徒を対象とした地域クラブ活動に対するニーズ調査を実施し、設置する種目、拠点数の検討に生かしたいと考えております。また、具体的な勤務条件や、兼職兼業の認定、許可条件を示したうえで、AGEO地域クラブにおける指導を希望する教職員の意識実態調査を実施し、地域クラブ活動における指導者の確保に係る参考にしたいと考えております。</p> <p>報告（1）についての説明は以上でございます。</p>
只限委員長	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問等はございますでしょうか。</p> <p>配置されているアッピー部活動コーチの皆様の活動状況はいかがででしょうか。</p>
事務局	<p>多くのアッピー部活動コーチが単独指導及び単独引率を実施できるようになってきております。また、顧問の教員との役割分担等を明確に行うことで、教員の負担軽減、部活動指導の充実に繋がっております。</p>
根本委員	<p>本校には、アッピー部活動コーチ2名が配置されており、それぞれ生徒の実態に合わせて、丁寧に指導いただいています。教員には、副顧問として入ってもらい、生徒にトラブルがあった時などは教員が対応しています。先日の新人体育大会では、女子バスケットボールの試合で、アッピー部活動コーチにベンチに入ってくださいました。</p>
洞派委員	<p>本校では、女子バレーボール部と女子ソフトテニス部に配置されております。保護者等への連絡については、教員の顧問が行っていることが多い</p>

	<p>ですが、アッピ一部活動コーチがいることで、他の校務を、余裕をもって業務にあたることができている、当該教員の働き方改革にもつながっています。</p>
只限委員長	<p>競技種目の経験がない教員が顧問を務める学校に主に配置しているということが、とても良い事例だと思います。</p>
高山委員	<p>資料に、アッピ一部活動コーチの活動状況について様子の分かる文言を入れてくださると良いです。</p> <p>地域クラブミーティングに出ている意見の内、受益者負担をいくりにするかという議論については、実施と運営の方式がある程度固まってきてからの話になるのではないかと思います。</p>
根本委員	<p>レベル別指導の必要性ですが、個人種目については、レベルに合わせた指導がしやすいのではないかと思います。</p>
洞派委員	<p>陸上競技などであれば、種目で分けられるところがありますが、集団種目では、同チームに様々な技能レベルの生徒がいるので、難しさがあると思います。</p>
高山委員	<p>是非、保護者への説明として、AGEO地域クラブがどのような指導を行うクラブなのかを明示することも、重要なことになると思います。</p>
只限委員長	<p>エリートスポーツを目指すのではない、学校教育として行ってきたものを引き継ぐ方針を明確に示すことが重要だと考えます。上尾市として、関係者への情報共有を積極的にしていただきたいです。地域クラブの趣旨を踏まえながら、どのような指導をしていくのかという方針は大切なことですので、上尾市として方針をしっかりと周知してほしいと思います。</p>
宮内委員	<p>義務教育は無償であるのに、地域クラブ活動は受益者負担である、つまりは有償であるという点について、学校部活動と地域クラブの違いについて、理解ができない関係者の方も多いいと思います。</p>
事務局	<p>地域クラブ活動は、学校教育として行われていた学校部活動が、生涯学</p>

鹿井委員	<p>習の一環という位置付けに変更して実施するものとなります。学校教育としての位置付けではなくなるという点をしっかり周知してまいります。なお、上尾市教育委員会では、令和8年度に、主管課を、現在の指導課から生涯学習課、スポーツ振興課に移管していく予定です。</p> <p>今後、生涯学習課に本事業の主管課を移管していくという話がありましたが、とても納得がいきませんでした。上尾市でも、生涯学習課が主催する大人を対象とした様々な講座がありますが、本事業も、大人を対象とした講座の中学生版のようなものと考えていくと、解決策が見えてくるように思います。但し、吹奏楽で一番問題になるのが、場所の問題です。上尾市には、吹奏楽に対応できるスペースが少なく、吹奏楽に対応できるスペースが確保できるのかが心配です。</p>
只隈委員長	<p>場所の問題については、鍵の問題もあったかと思います。</p>
鹿井委員	<p>学校の施設を使うとなった時には、一般の方の出入りが伴うので、セキュリティの問題を検討する必要があると思います。受付場所などを工夫したり、開放する扉を限定したりするなどの対応が必要だと思います。</p>
只隈委員長	<p>委員の皆様、御意見ありがとうございます。</p> <p>次に、報告（2）令和6年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況について、事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>報告（2）令和6年度地域クラブ活動実証事業の進捗状況について説明いたします。</p> <p>まず「スポーツ」に係る地域クラブ活動実証事業についてです。</p> <p>今年度は、スポーツ庁「スポーツクラブ活動体制整備事業」に参加し、スポーツ庁委託事業費を活用した事業を推進しております。現在は、AGEO地域クラブ代表者会議の発足、AGEO地域クラブ統括コーディネーター業務の民間事業者への委託、実証事業開始に向けた実施主体、会場等の決定を行い、各地域クラブ活動を開始する段階となります。</p> <p>それでは、実証事業、取組の内容について詳しく説明いたします。</p> <p>今年度の実証事業実施の趣旨は、休日の学校部活動の地域クラブ活動移行に向けた課題の抽出を行うこと、そして運営事業者「AGEO地域クラ</p>

ブ代表者会議」の管理の下、複数種目の地域クラブ活動を行いながら、次年度以降の水平展開、拡大につなげるための管理・運営のノウハウを構築することとございます。

なお、AGEO地域クラブ代表者会議における統括コーディネーター業務につきましては、条件付き一般競争入札の結果、市内上平中央に所在の特定非営利活動法人サンワエナジークラブが落札いたしました。

開設するクラブにつきましては、今年度は、昨年度までに取組経験のある3種目に加え、新たに4種目を加えた、計7種目で実施いたします。記載の団体の皆様に実施主体としての御協力を賜り、学校施設等を借用して、地域クラブ活動を実施いたします。なお、「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」では、最終的に市内4拠点で行うことを目指しておりますが、今年度はAGEO地域クラブの管理運営体制を構築しながらの取組となるため、各種目1拠点での活動としております。参加対象は、市内中学校に在籍する1・2年生の生徒としております。

各実施主体の皆様と相談し、実施日・実施時間を決定いたしました。種目ごとに実施回数が異なりますが、各実施主体の皆様、可能な範囲での実施をお願いした次第でございます。

参加者の募集は、令和6年9月6日から9月20日までの2週間にわたり、学校メール配信システムを活用して実施いたしました。

なお、今年度の地域クラブ活動は、学校部活動と並行して行うものとなります。参加を希望する生徒は、土曜日に学校部活動に参加しても、原則日曜日に行うAGEO地域クラブに参加することが可能という位置付けとなります。また、令和6年度のAGEO地域クラブの活動は、あくまでも「講習会・教室型」の活動を行うこととし、大会への参加等は実施いたしません。

すでに、第1クールの参加申込受付については、終了しており、令和6年9月30日現在、ソフトテニス75名、バスケットボール62名、陸上競技50名、軟式野球54名、卓球24名、剣道13名、計314名の皆様にお申し込みをいただいているところでございます。

また連携を行う際のツールとして、今年度の実証事業では、「スグラム」というスクール運営プラットフォームを活用いたします。スグラムは、連絡機能、出欠管理に加え、参加費の徴収をキャッシュレスで行うことができる機能を持ち合わせたシステムとなります。

次に、AGEO地域クラブでの指導従事を希望する教員の兼業許可につ

いてでございます。今年度の実証事業では、陸上競技、バスケットボール、軟式野球の3種目における一部の指導者について、教育委員会より、兼業許可を受けた上で、指導に従事するケースにも取り組みます。現在、希望する教員の兼業許可について、担当課の学務課において、許可の可否を判断しております。手続きについては、文部科学省及びスポーツ庁並びに文化庁が示しております手引き「公立学校の教師等が地域クラブ活動に従事する場合の兼職兼業について」に従い、進めているところでございます。

なお、資料にはございませんが、新たな地域クラブ活動「AGEO地域クラブ」実証事業の進捗について、補足をさせていただければと存じます。

第1回AGEO地域クラブ代表者会議及び指導者研修会についてです。代表者会議には、AGEO地域クラブ代表者会議統括コーディネーターに加え、各実施主体の代表者の皆様に御出席いただき、本事業の趣旨や、今後の統括コーディネーターとの連携方法等について確認いたしました。

また指導者研修会では、緊急時の対応体制や、連絡実施の際のフロー、AEDの使用に関する確認や、ハラスメントに関する研修等、AGEO地域クラブ代表者会議統括コーディネーターが中心となって行いました。

また、令和6年9月28日午後には、陸上競技（クロストレーニング）について、第1回の活動を実施しております。今後順次、各種目の地域クラブ活動がスタートいたします。

次に「文化芸術」に係る地域クラブ活動実証事業についてでございます。

上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」についてです。

まず、応募者数でございますが、令和6年6月21日から7月5日までの期間において、中学生を対象とした一次募集を行い、96名の応募がございました。

応募者数が少なかった、平方公民館及び大石公民館の2会場においては、小学生を対象とした追加募集を行い、6名の応募がございました。

現状、3月までの全ての講座への参加者を募集し、実施しているところでございますが、今後は、通常の参加者に加え、例えば、活動内容ごとに、短期間の参加募集を行うことなども、テストケースとして検討しております。

次に、講座の実施について御説明いたします。まず、プレ事業についてでございますが、9月からの市内6会場での本格実施を前に、7月に上尾公民館及び平方公民館の2会場において、先行的に実施いたしました。

予定していた3回のうち、8月31日（土）は、台風の影響を考慮し、中止といたしました。2回の講座を実施したことで、運営面での課題の抽出と、本格実施に向けた準備を進めることができました。

ここで、プレ事業実施時に参加者を対象に行ったアンケートの結果について、御説明します。

まず、「英語は好きですか」という問いに対して、「どちらかという嫌い」、「とても嫌い」と答えた参加者が約3割いました。さらに、「英語は得意ですか」という問いに対して、「どちらかという苦手」、「とても苦手」と答えた参加者は約6割に上りました。このことから、本事業の参加者については、必ずしも「英語が好き」であったり、「得意である」児童生徒が参加したりしているわけではなく、「英語が嫌いだけれども頑張りたい」と考える児童生徒や、自信をもって「英語が得意だ」と言えないが、「英語力を伸ばしたい」と考える児童生徒が多い結果となりました。

また、英語に係る4技能「聞く」「読む」「話す」「書く」ことについて、得意な順に選択する設問では、英語を「話すこと」が「1番得意」である答えた参加者は、他の技能に比べて最も少なく、「3番目に得意」や「4番目に得意」と答えた参加者が多い結果となりました。さらに、表現（アウトプット）という観点から見ると、「書くこと」に苦手意識をもっている参加者も同様の結果となっております。

以上を総括すると、英語による表現力を高めたいという、参加者のニーズがあることが分かりました。このことは、本事業が、「英語によるコミュニケーションを中心とした表現活動に特化」している点に合致するものであり、そのことを期待して応募してきた参加者が多いことが分かります。

教育委員会といたしましては、「イングリッシュサロン」のテーマである「誰でも、気軽に、楽しく英語を話す」ために、参加者のレベルに応じた活動を精選しながら、英語に対する抵抗感や苦手意識を、少しでも低減できるようにしていく必要があると考えております。

2回のプレ事業を経て、今月から、市内6拠点での活動を開始しております。

なお、9月7日（土）には、3つの報道機関が取材に訪れております。NHKさいたま放送局様につきましては、当日夕方のニュースにおいて、取材内容を放送してくださいました。

これまで実施した活動内容につきましては、簡単な英語で自己紹介、英

語を使ったゲーム活動、初歩的なディベート、そして、全4会場をオンラインで繋いだ交流となっております。

最後に、地域クラブ活動実証事業に係る、今後の課題及び予定について御説明いたします。

まず、「スポーツ」に関しましては、①広報活動及び周知啓発活動の積極的な実施 ②効果検証の実施を行ってまいります。特に効果検証につきましては、関係者へのアンケート調査及びヒアリングを、クールごとに行い、検証を行いたいと考えております。そして、③課題である実施主体及び会場の確保に向けた方策に取り組む予定です。

次年度は、種目数、拠点数とともに、拡大を図ってまいりたいと考えております。そのため、各スポーツ団体が、AGEO地域クラブの実施主体として、参加しやすくなるよう「地域団体版ガイドライン・運営マニュアル」を作成したいと考えております。また、完全実施時の「AGEO地域クラブ種目別活動拠点（案）」を作成し、ゴールイメージを意識した取組を推進したいと考えております。

さらに、「実施主体公募システム」の構築に向けた検討も行ってまいります。

加えて、令和7年度以降を見据えた新規テストケースにも取り組むたいと考えております。実施形式は体験会とし、実施時の、課題等の抽出に取り組んでおくことで、次年度以降のスムーズな拡大につなげられるようにしたいと考えております。テストケースでは、既存の学校部活動種目にこだわらず、基本方針に掲げる「多目」「多志向」「インクルーシブ」な環境整備に資することができるよう、ニュースポーツやパラスポーツ等に関する体験会の実施も検討してまいります。

次に「文化芸術」に関しましては、上尾市英語クラブ「イングリッシュサロン」の今後について検討してまいります。今年度は、参加費無しの無償での活動提供を実施していますが、将来的には、スポーツ同様の有償実施等を果たしていきたいと考えており、方策をまとめる必要がございます。

また、他の文化芸術活動に係る地域クラブとの並行、運営を見据え、その手立てを構築していく必要がございます。

また、既存の学校部活動種目である「吹奏楽」「美術」等に関する地域

	<p>クラブの開設について、早期実施を目指したいと考えております。</p> <p>現在、吹奏楽については、アッピ一部活動コーチ及びアッピ一部活動サポーターを活用した吹奏楽講習会の実施を、体験会として、複数回実施する計画を立てています。但し、本協議会で意見がございましたが、吹奏楽という種目特性を考えた際、拠点校方式の楽器別講習会よりも、現在の学校部活動をベースとした、指導者派遣型にこだわるべきかについても検討を重ねており、兵庫県加古川市の事例も参考にしながら、研究を重ねていきたいと考えております。</p> <p>報告（２）については以上となります。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>ただいまの説明について、御意見、御質問がございましたらお願いいたします。</p> <p>「AGEO地域クラブ」実証事業では、陸上競技で活動を開始したということです。第１回の様子を少し補足いただけますか。</p>
<p>萩原委員</p>	<p>登録した指導者には、大学生なども含まれています。第１回では、長距離系、短距離系、跳躍系グループに加え、陸上競技部に入っていない生徒の受け皿としてクロストレーニングを実施しました。参加者のレベル差が見受けられましたので、今後、指導の基準をどう定めて指導していくのか検討する必要があると考えています。</p>
<p>高山委員</p>	<p>「AGEO地域クラブ」実証事業の予算の内訳などについて聞かせていただきたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在は、スポーツ庁委託事業費と参加費を収入として、指導者謝金、保険加入費等を支出しています。なお、種目ごとに参加費額は変えず、一律の参加費で実施しています。</p>
<p>高山委員</p>	<p>種目ごとに一律の参加費額ということは、とても良いことだと思います。種目によって、金額に差がつくような形にはしないでほしいです。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>日曜日の活動が多いことについては、学校部活動が並行して実施されているからということですか。</p>

事務局	多くの学校で、土曜日を中心に部活動が行われていることから、地域クラブ活動は、日曜日の実施を中心としたところでございます。
只隈委員長	一部種目の指導者が、兼業を希望した教員ということですか。補足いただけますか。
事務局	9月より、市内小・中学校の教職員に対し、地域クラブ活動における兼業希望がある場合には、関係資料の提出を求めているところです。教員の働き方改革と並行しての実施と考えていますので、時間外在校等時間について、「月45時間、年間360時間」の達成を前提として、所属校の校長が認め、教育委員会においてもそれが確認できた場合は、許可となります。
只隈委員長	現場の先生方はどうお考えでしょうか。
根本委員	本校では1名の希望がありましたが、時間外在校等時間を考慮した上で、校長として認め、副申とともに、教育委員会に許可を申請しました。やる気のある教員に対してストップをかけることが、逆にストレスになるのではないかと考えています。
洞派委員	現場には、部活動指導をしたい教員と部活動指導に負担を感じる教員がいます。部活動指導を行いたい教員にとっては、基準を満たし、校長が許可をすれば、地域クラブでの指導が可能となります。
鹿井委員	イングリッシュサロンについて、参加している中学生やその保護者の意識として、「英語塾」のようなものをイメージしている方が多いように感じました。将来的なことを考えると、その考え方も有りだと思います。吹奏楽でも、地域で小・中学生を集めて活動している団体がありますので、スキル向上を目的としたこうした取組は有効かと思います。
永井委員	私は合唱に関する団体に所属していますが、教員の中には、地域クラブでの活動に興味をもたれている方もいると思います。そうした方々が関わりやすい環境をつくることはとても良いと思います。

只隈委員長	但し、教員が指導者になる場合には、教員の働き方改革とのバランスが重要になってくると思います。
金子委員	私たちも、年齢制限なしのイングリッシュサロンを開催していますが、アウトプットの機会は、必要な学びの機会です。是非、イングリッシュサロンについて、開催回数を増やしていただきたいと思います。
宮内委員	学校の部活動には、囲碁、将棋などもあるのですか。
事務局	市内中学校の学校部活動には設置はございません。
宮内委員	指導者に心当たりがあるので、拠点校方式のような形も可能なのではないかと考えました。
只隈委員長	ありがとうございます。 それでは、次に協議に移ります。 協議のテーマは、「『上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針』に基づく休日の地域クラブ活動の最適な実施に向けて」です。 事務局より、本テーマ設定の理由等について説明願います。
事務局	本日の協議におけるテーマの設定理由等について御説明いたします。 報告のとおり、現在、本年5月に策定いたしました「上尾市における部活動の地域移行に向けた基本方針」に基づき、基本構想の具現化を図るための事業を推進しているところでございます。 これまでに、その概要を説明させていただきましたが、まだまだ道半ばであり、検討すべき課題は多々あるものと考えております。そこで、本日の報告等を踏まえまして、委員の皆様から「最適な地域クラブ活動の実施」を目指す上で、今後どのような検討が必要かについて御意見として伺い、今後の事業推進に生かしてまいりたいと考えております。 どうぞよろしく願いいたします。
只隈委員長	それでは、委員の皆様より御意見をいただければと存じます。
高山委員	イングリッシュサロンについては、参加者数が想定より少ないように思

	<p>います。スポーツについては、準備が着々と整ってきているように感じてはいますが、休日の実施であること、1回300円であること、拠点校方式であるという3点は、関係者に強く伝えていくべきと思います。また、指導課から生涯学習課、スポーツ振興課に主管課が移行していくということも、都度、伝えていく必要があると思います。</p>
只隈委員長	<p>活動内容について、マニュアルのようなものはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>イングリッシュサロンについては、3月までの講座の大まかな内容の見通し、どこの会場でも、外国人講師、コーディネーターが変わっても指導ができる、指導計画を出しています。</p> <p>スポーツについては、基本方針の内容や、緊急時フロー等については、研修を通して確認していますが、それぞれの種目の指導内容については、参加者のレベルを考慮して、各団体に計画をお任せしています。</p>
只隈委員長	<p>マニュアル作成については、検討すべき事項かと考えます。</p>
根本委員	<p>平日についての完全移行はいつ頃を考えていますか。また、令和8年度8月に休日の完全移行になったあとの、中学校体育連盟の大会への参加についても聞かせていただきたいです。さらに、最終的には、4拠点で実施するということですが、指導者が集まらなかった場合の対応について教えてください。土曜日は学校部活動を行う、日曜日にはパラスポーツ、ニュースポーツ等、いろいろなスポーツを体験させる、などの考え方も重要かと思えます。</p>
事務局	<p>ニュースポーツ及びパラスポーツの実施については、基本方針に基づき、重視すべき事項と考えております。</p> <p>地域クラブによる大会参加については、上尾市中学校体育連盟と連携、協議の上しながら進めていきたいと考えています。</p> <p>平日の移行については、施策という部分については、令和8年8月の休日の地域移行を実施した後に本格検討となります。</p>
只隈委員長	<p>それでは、皆様から様々な御意見をいただきましたが、本協議会としては、事務局に、ここで出た意見を反映した上で、令和6年度事業及び地域</p>

<p>全委員</p>	<p>クラブ活動実証事業について進めていくということで御異議ありませんか。</p> <p>異議なし。</p>
<p>只隈委員長</p>	<p>長時間に渡り、貴重な御意見ありがとうございました。また、進行への御協力ありがとうございました。</p>